

## 福島第二原子力発電所における緊急時演習の実施について【概要】

福島第二原子力発電所では、平成24年2月26日～27日にかけて、原子力事業者防災業務計画並びに原子炉施設保安規定に基づく「平成23年度 福島第二原子力発電所 緊急時演習」を実施しました。

この訓練は、原子力災害発生時に、事態の収束・復旧に向け、原子力防災組織があらかじめ定めた機能を有効に発揮できることを確認するために年1回実施するものです。

### 【訓練のシナリオ】～以下の過酷な条件を想定

福島第二の全プラント（1～4号機）は冷温停止中のところ、

- ・福島県浜通り地方で震度6強の地震が発生し、外部電源が喪失。
- ・地震の影響で廃棄物処理建屋東側ヤードの仮設ハウスで火災が発生。
- ・その後、津波の襲来を受けて、「交流電源を供給する全ての設備の機能」、「海水を使用して原子炉施設を冷却する全ての設備の機能」、及び「使用済燃料プールを冷却する全ての設備の機能」を喪失。

### 【訓練項目】

- 緊急呼び出しならびに緊急時対策室立ち上げ訓練
  - 避難誘導訓練
  - 免震重要棟への電源車接続訓練
  - 緊急被ばく医療訓練
  - 水素爆発防止訓練
  - 電源車による電源確保訓練
  - 原子炉・使用済燃料プールへの注水訓練
  - 消火訓練
  - ガラ撤去等訓練 等
- （参加人数：2日間で延べ約170名）

### 主な訓練の実施内容

#### ◎電源車による電源確保訓練

全交流電源喪失時に、原子炉・使用済燃料プールへの注水や除熱機能を維持するため、電源車を利用して必要な電源を供給する訓練（1～4号機に電源車を配備、3号機にて電源ケーブルとの接続確認）

<使用資機材> 電源車5台、電源ケーブル（総延長1160m敷設済み）



電源ケーブルの接続（3号機）



電源ケーブルの接続（3号機）

#### ◎原子炉・使用済燃料プールへの注水訓練

消防車を使用し、原子炉や使用済燃料プールへ淡水及び海水の注入を行う訓練

○淡水：ろ過水タンクや耐震防火水槽から1～4号機の原子炉建屋6階（仮設タンク）への送水確認

○海水：取水口から消防車を使用して海水を取水し、屋外への放水を確認

<使用資機材> 消防車3台、消火ホース（総延長500m）



耐震防火水槽からの送水



原子炉建屋（仮設タンク）への送水（1号機）

#### ◎消火訓練

地震により廃棄物処理建屋東側ヤードの仮設ハウスにおいて、火災の発生を想定し、消防署への連絡や自衛消防隊による消火活動等を行う訓練



自衛消防隊による消火訓練



自衛消防隊による消火訓練

#### ◎緊急被ばく医療訓練

原子炉建屋内において、放射性物質による汚染を伴う負傷者の発生を想定し、汚染測定、除染、応急処置、急患移送車による搬送等を行う訓練



汚染測定



応急処置